品川支部

令和5年11月1日発行
〒 141-0022
品川区東五反田1-8-5
℡　3442-7075
11月

天理教品川支部（豊英分教会内）　発行責任者　栗原薫　編集　支部編集部

青年会総会は11月25日
夕づとめ後に後夜祭

コロナ禍で大きくイベントが出来なかった青年会総会が三年千日の一年目の今年は11月25日に開催されます
11時から中庭での総会に続き、夕勤め後には後夜祭が行われ久しぶりに制約無しで賑やかに催されます
東西泉水プール前で、模擬店、パレード等が行われ、プログラムの最後は花火で締めくり、多くの方の参加で、翌日の月次祭に賑やかに繋ぎましょう

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会
十一月九日(木)午後六時～
都南分教会にて

・支部例会
十一月は当初、移動例会の予定でしたが豊英分教会での会場に変更になりました
通常例会となりますのでお間違えの無いようご参集下さい。
※　二頁に詳細掲載

教区百四十年祭活動「みんなでひのきしん」
神名流し、ゴミ拾いひのきしん
一日大井町駅前にて十時から
在宅センターひのきしん
二十八日在宅介護センターで

・教区ひのきしん
今月は本大崎組です
よろしくお努め願います

☆教務支庁からのお知らせ

・東京元気プロジェクト
皆さんにご協力頂いておりました「カイロで水質改善」は教区の役割達成になりましたので、終了となりました。
引き続き、ペットボトルのキャップは地域の方が教会に気軽に足をお運び下さることも期待して継続していますのでよろしくお願い致します

・婦人会から
委員部長講習会が十一月十四日十時半から教務支庁で開催されます。参加費五百円は支部負担で参加出来ますので連絡願います
鳴り物講習会は二十八、九日です

・少年会
東京教区団少年会総会は三日一時半から開催、品川支部は有志による焼きそばの模擬店で協力

品川区からの表彰者紹介

文化の日時期、品川区でも種々な功労者の表彰があります
今年は豊英分教会奥様栗原房枝さんが、明るい選挙推進委員二十年特別表彰を頂きました

表彰状と記念の金杯

選挙推進の一環で、現在各地域の小学六年生を対象に用紙や投票箱等、本物の器材を使用しての投票の体験ができる「出前模擬選挙」の先駆者としても活躍されています

＊お近くで紹介したい方がいらっしゃればご紹介を編集部まで

時報手配り十一月予定

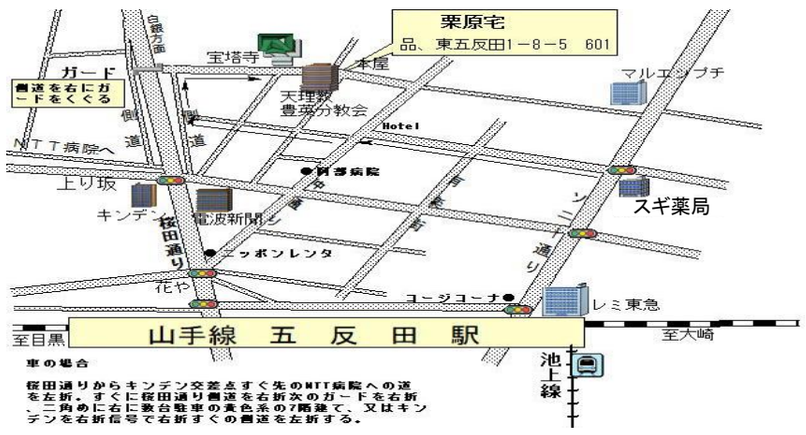
十五日は二十二日に合併号となり発行は有りません

拠点教会	1日号	8日号	22日号	29日号
日本橋	直　送	直　送	手配り	直　送
本　荏	直　送	手配り	手配り	直　送
南　泰	直　送	手配り	手配り	直　送
三ツ木	直　送	手配り	手配り	直　送
水豊田	直　送	直　送	手配り	直　送

品川支部例会

令和五年11月30日（木）
11時開始
場所　豊英分教会
座りづとめ よろづよ八首 十一下目
東京教区、支部連絡事項
当該栗原教会長挨拶
昼食の用意頂いてます
＊各教会の方のほかどなたでも
（白足袋ハッピ着用）

豊英分教会
品川区東五反田1-8-5
03-3442-7075



岡部家の因縁

日徳實分教会長

先日、父である上級の会長さんと共に、愛媛県にある岡部家の先祖のお墓参りに行かせて頂きました。

岡部家は三百年以上前から愛媛県の伊予小松という地で代を重ね、殿様に仕えてきた武士家系であります。近くには小さな城跡が数箇所あり、私は「ご先祖様はどこの殿様に仕えていたのかな？」と思いを巡らせました。

岡部家の墓地は、おぢばの豊田山墓地や巣鴨の染井霊園にもありますが、古い先祖のお墓は愛媛にありますので、年に一度しか墓参が出来ず、勿論お墓掃除も年に一度になってしまいます。私は生まれて初めて行かせて頂きましたが、案の定十坪の敷地は雑草で墓石も何処にあるかわからないほどでありました。

除草作業を始めると十基の墓石が見えてきました。少しずつ墓石や戒名が見えて、また古い物は読め無いものもありました。

その中に曾祖父母のお墓もありました。今から遡ることおよそ百年、岡部家の天理教入信は、曾祖父母の代であります。

曾祖父母は一人息子の身上を受け、信仰をはじめました。しかし、その大切な一人息子も11歳にして出直してしまいました。その後、跡取りの居ない岡部家に祖父が養子に迎えられることになりました。

この話からも分かるように岡部家には家系が途絶えてしまう断絶の因縁があり、この因縁の自覚が信仰する上で核となっております。

両親がお預かりしている上級の「日徳」という教会も断絶因縁のある教会で、歴代の会長の苗字が違い、親から子に続いた試しがありません。また、私がお預かりしている「日徳實」という教会も、初代で一度事情教会に、二代以降も教会を復興しますがその家も途絶えてしまいます。そして3年ほど前、事情復興という事で名称変更と日徳の部内に変更し、私で会長6代目であります。本当に似た因縁の教会と家庭であります。

岡部家では曾祖父母の代から今まで、様々な厳しい節を通してお仕込みをいただいて参りましたが、お道の信仰のお陰で、なんとか断絶せず、少しずつ結構にならさせて頂きました。

先日母と我が家の因縁について話す機会がありました。母は「因縁は親孝行とたんのうで果たしていく」と聞かせてくれました。

両親は30年前、当時事情教会であった日徳分教会の四代会長として就任し、岡部家として初めて教会をお預かりすることになりました。今思い返せば両親の教会生活は「親孝行とたんのう」一筋で通っていた様に思います。私を振り返ると全くつとめがたりていないと反省をします。

そんな日徳分教会も数年後、私の兄に会長を交代する予定であります。実現すれば教会創立以来、初めて親から子に継承することになります。

私も今年、長男が生まれ親神様のご守護で元気にお育ていただいております。

一般的には家系が代々続くことであったり、子供が元気でいることは、もしかしたら当たり前の事なのかもしれませんが、私は岡部家の断絶因縁を思う時に、全く当たり前では無く、本当に心の底から湧く感謝と嬉しさがあります。

まったく今があるのは神様のご守護と親々の因縁果たしの徳積みのお陰です。

私も次代へ信仰を繋ぐために、親々の信仰に感謝しながら、これからも因縁果たしの道を歩ませて頂きたいと思います

岡部喜徳